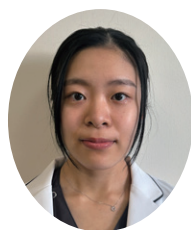


研修医の手記



本年度4月より市立釧路総合病院で初期臨床研修医としてお世話になっております、南田珠緒と申します。この度は連携ニュース「春湖台」への掲載の機会をいただき、誠に光栄に思います。

私は札幌で生まれ育ちました。

祖父母が足寄町在住であったため道東を身近に感じておりましたが、釧路に初めて来たのは一昨年のことでした。

着任当初は新しい土地で新社会人として勤めることにとても緊張していましたが、熱心な上級医の先生方のご指導と病院スタッフの皆様の温かさに触れ、支えていただくことにより実りの多い臨床研修をさせていただいております。

学ぶことばかりの慌ただしい毎日ではありますが、

生活に慣れるにつれて改めて釧路の素晴らしさに気づかされます。退勤後20分も歩けばライトに照らされた釧路川をゆっくりと眺めることができ、美味しい海鮮などの食事を楽しむことができます。厚岸町、弟子屈町、根室市などまで車を走らせれば、道東の雄大な自然に包まれて癒されることができ、楽しみの一つになっています。

気づけば釧路へ赴任して半年以上が過ぎ、未熟ながらも研修医として勤めてまいりましたが、あと数か月で新しい1年目の研修医が入ってくると思うと身が引き締まる思いです。至らぬ点は多くあると存じますが、恵まれた環境で学ばせていただいていることへの感謝を忘れず、日々お世話になっているスタッフの皆様、患者様、そして道東地域の医療に少しでも貢献できるよう精一杯努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

医療連携相談室のご紹介



精神保健福祉士
大川 結麻

10月より医療連携相談室所属となりました、大川です。今までは精神保健福祉士として精神科病院にて勤務していました。市立病院のような大きな病院での相談員経験は無く、先輩方から日々多くのことを学ばせていただいています。

今までの経験も活かしながら、患者様・ご家族に安心していただけるような退院支援ができるよう尽力いたします。よろしくお願いいたします。

新棟の実施設計が完了しました



新病院パース図

令和6年10月に、基本設計をもとに詳細な図面などを作成する実施設計（新棟部分）が完了しました。基本方針として①救急医療、②災害医療、③周産期・小児医療、④がん医療、⑤高度医療・チーム医療、⑥患者サービスの充実を柱とした設計となっています。なお、新病院は設計と施工を一括に発注するデザインビルド方式を採用しており、すでに本体工事に着手しています。工事の進捗状況等についてはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

事業スケジュール

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
新 棟		実施設計	本体着工			引越	7月 新棟オープン
既存棟		実施設計	改修・解体				



市立釧路総合病院

発行責任 広報委員会

〒085-0822 釧路市春湖台1番12号

TEL(0154)41-6121・FAX(0154)41-6511

市立釧路総合病院



第36号：令和7年1月6日発行

ご挨拶



市立釧路総合病院 院長

森 田 研

平素よりお世話になっております。新年のお慶びを申し上げます。

2024年8月26日に正面駐車場の全面が新棟の工事エリアとなったことにより、駐車場の混雑やバス停からのアクセスなど、ご不便をおかけしております。乗降場所である仮設ロータリー内においてはロードヒーティングの埋設や待合所（プレハブ）を設置し、安全面や利便性に考慮して整備を行いました。また、病院前交差点の市道拡幅工事が行われておりましたが、12月上旬に片側2車線となりました。引き続き、患者の安全面と診療・地域連携への影響を最優先に考慮し、工事を進めてまいります。

さて、釧路市では、2024年8月から、開業医の高齢化による人員不足により、それまで開業医の在宅当番制だった休日の初期救急医療を釧路市休日夜間急病センターに集約するとともに、2次当番病院の受入を徹底し、

地域の救急医療をオール釧路で支える体制を作っています。

地方・地域センター病院である当院は、他地域のセンター病院と比較して人員が十分ではない中で2次救急と3次救急を行っています。働き方改革の名の下で勤務医の時間外労働上限規制が設けられ、当院の5つの急性期診療部門（麻酔科・循環器内科・心臓血管外科・脳神経外科・呼吸器内科）は特例水準Bという指定を受けており、医師は一定以上の連続勤務が生じた場合、速やかに代償休息を取得することが義務付けられています。市内の2次救急を担う他の病院においても、当院よりも少ない医師数で救急体制を組んでおり、当番日以外の対応は困難です。

この状況の中で釧路地域の医療を守るためには、まずみなさまに医療体制の現状をご理解いただき、地域のかかりつけ医を上手に利用して健康管理していただくことが必要です。何卒ご協力をお願いいたします。

理念「信頼と満足の創造」

経営方針

- 十分な説明のもとに患者の意思を尊重し、患者中心の医療を行います。
- 地域完結医療を目指し、高度医療・救急医療を充実します。
- 地域医療を支援するため、病診連携を密にします。
- 心温かな質の高い医療サービスを実践するため、日々研鑽します。
- 良識と協調性のある医療人として、意欲と誇りの持てる職場環境づくりに努めます。

～ロボット手術センターのご紹介～

ロボット手術センター長 泌尿器科部長 青柳 俊紀

市立釧路総合病院は2024年11月より道東初のロボット手術センターを創設いたしました。当院では泌尿器科、呼吸器外科、消化器外科、産婦人科でロボット支援手術を実施しています。ロボット手術は、腹腔鏡や胸腔鏡手術で医師がロボットを操作して行



う手術です。決してロボットが医師の代わりに手術を執刀するわけではありません。手術支援ロボット「ダヴィンチ」は米国インテュイティブサージカル社が開発したものです。この「ダヴィンチ」を使用したロボット支援手術は、大きな皮膚切開をせず身体に数か所の穴をあけ、多関節機構などロボット特有の機能により従来の腹腔鏡や胸腔鏡手術では不可能とされていた精細な手術を可能にします。執刀医はサージョンコンソールという操縦席に座り3D立体モニターを覗きながらロボットを操縦し緻密な手

術を行います。

当院は2015年に「ダヴィンチS i」を導入し前立腺癌に対しロボット支援手術が開始され、以降は肺癌、直腸癌、腎癌、膀胱癌等に対しても実施可能となりロボット支援手術実績は2024年12月までに580件を超えております。また、2024年10月よりダヴィンチの第4世代にあたる「ダヴィンチXi」を導入いたしました。「ダヴィンチXi」の特徴として、手術を行うロボットアームが細くコンパクトになったことにより、体外での接触が少なくなり操作性が向上し可動域が拡大しました。カメラの太さも12mmから8mmと細くなり4本のロボットアームのどこにでも装着可能となりました。これらの進化により手術の操作性、精度が高まり、高度な手術をより安定して行うことができるようになりました。

このような最先端の医療や患者さんの身体にできるだけ負担の少ない低侵襲治療を提供することは当院の役割であり、それを実現する手段の一つがロボット支援手術です。今後ロボット支援手術の対象となる疾患も広がりロボット手術を希望される患者さんが増加することが予想されます。そのためにも患者さんが安心してロボット手術を受けられるよう医師、看護師、臨床工学技士の協力のもと、地域のニーズに応えていきたいと考えております。



2024年度災害医療訓練を実施しました。

2024年10月19日（土）に令和6年度市立釧路総合病院災害医療訓練を実施しました。

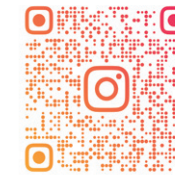
本訓練は震度6強の地震とそれに伴う20mの津波被害が発生したという想定で300人近い参加者のもと実施しました。当院職員に加え、釧路・根室管内の消防職員や、釧路市立高等看護学院の学生も傷病者、救急隊、マスコミ役等としてご参加いただいたことでよりリアルな状況での訓練となりました。

コロナ禍により5年ぶりの開催となったため、各職員が災害時の役割を再認識するとともに意義のある訓練となりました。

また、今回の訓練では新たにweb上のシステムを利用し、各部署がリアルタイムで職員の配置や患者情報の共有を行うといった検証も行いました。

今後も、このような訓練を通じて地域の安全と安心を守れるよう災害対策に取り組んでまいります。

訓練時の様子はInstagramより視聴できます。



釧路管内は、千島海溝沿いに巨大地震が発生した場合、20mを超える津波が発生し、甚大な被害に見舞われると予測されています。その際、当院には地域の災害拠点病院として多くの傷病者の受け入れや地域の医療機関の支援を行い、住民の方々の救命のために尽くすという使命があります。その使命を十分果たせるよう、可能な限りの準備をしていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



オープンホスピタルの様子

2024年11月23日（土）に市内中学生を対象としたオープンホスピタルを開催しました。

15名の参加者が3つのグループに分かれ医療現場で活躍する様々な職種を体験しました。病院の裏側を知る貴重な機会となり、未来の医療を担う若い世代が医療に触れる素晴らしい1日となりました。



♪当日のプログラム♪

ー見学・体験ー

手術室体験、ドクターヘリ見学、薬剤師体験、管理栄養士体験、放射線技師体験、臨床検査技師体験、臨床工学技士体験、リハビリテーション技師体験

ーお仕事紹介ー

◆医療連携相談室 ◆医事課
◆新棟建設推進室

手術室体験では最新の医療機器に触れながら、手術の流れを学ぶ体験をし、リアルな現場の雰囲気感動の声が多くあがりました。また、ドクターヘリの運転席に座る体験では「某ドラマみたい！」と大興奮。医療の現場を支えるドクターヘリの役割や仕組みを学ぶことができました。当院は、未来の医療者を応援しています。このイベントに参加した中学生の皆さんにとって、医療に興味を持つきっかけや夢を描く参考になれば嬉しいです。